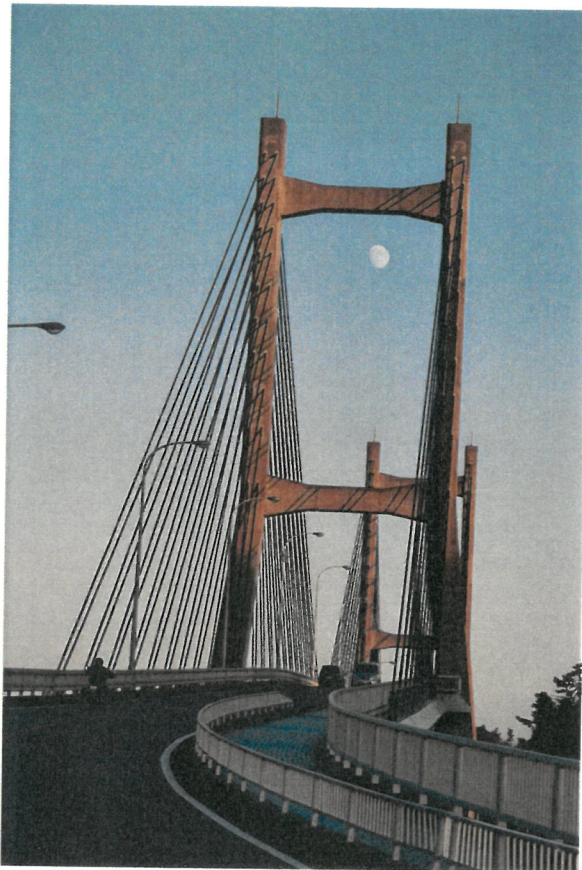


令和元年度 総会資料

開催日：令和元年6月12日（水）13:30～

場 所：相馬市LVMH子どもアート・メゾン



特定非営利活動法人
相馬フォロアチーム

令和元年度 総会次第

- 1 開会
- 2 理事長あいさつ
- 3 来賓あいさつ
 - 相馬市長 立谷 秀清 様
- 4 議長選任
- 5 議事録署名人選任
- 6 議事
 - (1) 議案第1号 平成30年度事業報告及び活動決算について
 - (2) 議案第2号 令和元年度事業計画(案)及び活動予算(案)について
 - (3) その他
- 7 その他
- 8 閉会

平成 3 0 年度事業報告書

【心のケア事業】

1 事業の実施内容

震災による子どもへの PTSD 対策や成長支援を行うため、臨床心理士等の専門家を中心に被災小中学校及び LVMH 子どもアート・メゾンでカウンセリング等を行った。さらに、被災した子どもに生きる力を育むための情操教育および社会性育成の支援を行った。

2 事業の実施状況

(1) 学校訪問

- ① 回数：延べ 285 回
- ② 内容：対象 中村第二小学校 119 回（内、世界の医療団派遣 8 回）、中村第二中学校 82 回、磯部小学校 41 回、磯部中学校 43 回

(2) LVMH 子どもアート・メゾン相談室での心理相談件数

- ① 回数等：延べ 349 件
- ② 内容：LVMH 子どもアート・メゾン相談室にて、保護者への子育て相談や子どもの発達に関する相談、子どもへのカウンセリングやプレイセラピー（遊戯療法）等の心理支援を行った。また、必要に応じて発達・知能検査や心理検査を実施した。

(3) 関係機関との連携

- ① 回数等：延べ 267 回
- ② 内容：相馬市地域自立支援協議会（11 回）、要保護児童対策地域協議会（2 回）、教育相談員等支援者会議（3 回）に参加し関係団体等との情報共有を行った。また市内の少年補導員を対象に研修会の講師を行った。なお、回数については電話やメール連絡、訪問も含む延べ数とする。

(4) 震災遺児・孤児に対して

当該児童生徒についてはカルテを作成し、担任、養護教諭、家庭などから情報を収集した。

(5) 緊急支援等の活動

件数：0 件

3 事業実施の成果

津波被災地域の子ども、保護者、教職員等の心的外傷を緩和し、克服できるよう臨床心理士等の専門家が継続的に心のケアを行った。多くの子どもたちに、医学的な診断・治療を要する PTSD の症例は出ていない。しかし、震災から 8 年を経過した今でも、一部の子どもたちには、家庭環境の変化等により精神疾患や発達障害様の症状を呈する例もあり、継続的な観察やカウンセリング、並びに心理社会的な支援が必要とされる。

本年度は、津波被災地域のみならず、相馬市民の子育て相談施設として周知され、その機能を果たすことができた。その他、相馬市教育委員会、市保健センター、医療機関といった他機関との連携や情報共有も行った。

【学力向上事業】

1 事業の実施内容

- (1) 東日本大震災で被災した相馬市内の中学生を対象に、東京大学学生ボランティアによる学習会（相馬寺子屋学習会）を行った。
- (2) 学習会を通して、生徒の学習意欲を高め、学習習慣を身に付けさせるとともに、将来の職業選択に必要な学力を身に付けさせるようにした。
- (3) 学習会は、相馬市生涯学習会館とLVMH子どもアート・メゾンを会場にして開催した。

2 事業実施の成果・実績

(1) 実施内容

- ① 期間：平成30年5月26日～平成31年2月3日
- ② 参加ボランティア数：延べ121人

(2) 実施場所等

- ① 相馬市生涯学習会館
 - ・ 開催数：13回
 - ・ 参加者：中学生延べ250人
- ② LVMH子どもアート・メゾン
 - ・ 開催数：13回
 - ・ 参加者：中学生延べ159人

- (3) 成 果：参加した生徒一人一人の学習課題に応じた支援を行うことができた。また、生徒の学習意欲を高めるとともに、学力の向上も図ることができた。

【交流事業】

1 事業の実施内容・成果

- (1) 相馬フォロアーチームの支援団体である大阪の「プール学院」との交流事業へ参加した。担任教師が引率のもと、震災で被災した磯部中学校の生徒5名が、平成30年8月17日（金）～8月19日（日）2泊3日の日程で訪問し、プール学院の生徒と以下のような活動を通して交流を深めた。
 - 教職員や生徒による歓迎式、歓迎パーティーへの参加
 - 各種音楽クラブや放送部のメンバーと体験活動
 - 大阪市内の観光、USJ、海遊館等の見学
- (2) 平成30年3月上旬に本市を訪問する予定でいたが、プール学院の側の都合により実施できなかった。（次年度は実施をする予定）
- (3) プール学院と磯部中学校の生徒との面前で交流は実現しなかったが、3月11日をはさんで、生徒会同士で手紙による相互交流を行うことができた。

2 東京大学のキャンパス見学会への参加

- (1) 日 時：平成30年8月6日（月）
- (2) 場 所：東京大学 本郷キャンパス
- (3) 参加者：市内中学生24名（引率2名）
- (4) 内 容：① キャンパス見学…総合研究博物館、安田講堂周辺、赤門周辺の見学
② 大学生との交流・昼食
③ 大学の先生による講義の体験
- (5) 成 果：参加した生徒たちは、施設見学や講義等を通して、大学生活についてさまざまな角度から認識を新たにすることができ、大学進学へのあこがれや学習意欲を高めることができた。また、進路実現までの取り組み、勉強の仕方、学習時間の取り方などについて学んだ。

平成30年度活動計算書

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取寄付金		0
受取寄付金		0
2 受取助成金等		0
受取補助金		0
3 事業収益		
市委託料収入	20,414,400	20,414,400
4 その他収益		
受取利息	95	
雑収入	59,600	59,695
経常収益合計		20,474,095
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	8,310,673	
法定福利費	1,282,309	
人件費計	9,592,982	
(2) その他経費		
旅費通信費	2,230,250	
賃借料	1,067,676	
その他事業費	1,747,916	
その他経費計	5,045,842	
事業費計		14,638,824
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	4,501,615	
法定福利費	694,584	
人件費計	5,196,199	
(2) その他経費		
旅費通信費	292,798	
賃借料	578,324	
減価償却費	1,148,525	
その他管理費	824,599	
その他経費計	2,844,246	
管理費計		8,040,445
経常費用合計		22,679,269
当期経常減少額		-2,205,174
当期正味財産減少額		-2,205,174
前期繰越正味財産額		8,917,194
次期繰越正味財産額		6,712,020

貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,582,567		
未収入金	1,207,920		
流動資産合計		6,790,487	
2 固定資産			
車輛運搬具	874,169		
什器備品	189,899		
固定資産合計		1,064,068	
資産合計			7,854,555
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,089,245		
預り金	53,290		
流動負債合計		1,142,535	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,142,535
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		8,917,194	
当期正味財産減少額		-2,205,174	
正味財産合計			6,712,020
負債及び正味財産合計			7,854,555

財 産 目 録

平成 31 年 3 月 3 1 日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
東邦銀行普通預金 (No.1035128)	5,582,567		
未収入金 受託料(相馬市)	1,207,920		
流動資産合計		6,790,487	
2 固定資産			
車輛運搬具			
スズキアルトF (福島580の4217)	1		
スズキエブリィW (福島580の3785)	1		
ホンダフィット(中古) (福島502て9681)	529,167		
ホンダライフ(中古) (福島581か6267)	345,000		
車輛運搬具合計	874,169		
什器備品			
パソコン	1		
リコープリンター	1		
知能検査コンプリートセット	1		
知能検査セット	23,733		
事務所書庫	166,163		
什器備品合計	189,899		
固定資産合計		1,064,068	
資産合計			7,854,555
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
3月分 電話料	13,113		
3月分 水道光熱費	31,139		
3月分 社会保険料	288,993		
未払消費税等	756,000		
未払金合計	1,089,245		
預り金			
1～3月分 源泉税	53,290		
流動負債合計		1,142,535	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,142,535
正味財産			6,712,020

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協会）によつてます。

(1) 消費税等の会計処理

税込処理である。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算に計上していません。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科 目	心 理 ケ ア 事 業	寺子屋ふれあい 事 業	プール学院 交 流 事 業	合 計
(1) 人 件 費				
給料手当	8,310,673	-	-	8,310,673
法定福利費	1,282,309	-	-	1,282,309
人件費計	9,592,982	-	-	9,592,982
(2) その他経費				
旅費通信費	540,550	1,689,700	-	2,230,250
賃借料	1,067,676	-	-	1,067,676
その他事業費	1,522,336	-	225,580	1,747,916
その他経費計	3,130,562	1,689,700	225,580	5,045,842
合 計	12,723,544	1,689,700	225,580	14,638,824

事業の共通経費がある場合は、スタッフの従事割合で按分する。

監査報告書

平成30年度特定非営利活動法人相馬フォロアーチームの収支決算について、令和元年6月3日に預金通帳並びに領収書など関係書類をもとに監査をいたしました。

その結果、正確かつ適正に処理されておりましたので、ここにご報告いたします。

令和元年6月12日

特定非営利活動法人

相馬フォロアーチーム

監事 反畑正博 (印)

令和元年度事業計画（案）

事業内容

1 心理ケア事業

(1) 学校巡回カウンセリング

相馬市内の東日本大震災の被害が大きかった小中学校を中心に、相馬フォロアーチームのカウンセラーが定期的に巡回し、児童・生徒とその保護者、教職員を対象にカウンセリングを実施する。

① 対象校

中村第二小学校、中村第二中学校、磯部小学校、磯部中学校

② 予定される訪問回数

- ・ 中村第二小学校・・・ 81回
- ・ 中村第二中学校・・・ 83回
- ・ 磯部小学校・・・・・・ 46回
- ・ 磯部中学校・・・・・・ 44回

(2) LVMH子どもアート・メゾンにおけるカウンセリング

LVMH子どもアート・メゾン相談室において、18歳に達して最初の3月31日を迎えるまでの子どもを対象に、またその保護者等を対象に子育て相談・心のケアを実施する。

(3) 相馬看護専門学校との提携事業

相馬看護専門学校の学生に対し、心理支援活動を行う。

(4) LVMH子どもアート・メゾンにおける心の相談会

LVMH子どもアート・メゾン多目的研修室にて、市内の園児・幼児・児童・生徒の保護者・支援者を対象にした相談会を実施する。今年度の実施は2回を予定している。

(5) 関係機関との連携

関係機関との情報交換を行うことや研修会への参加（講師としての参加も含む）等、関係機関との連携を図る。

(6) 震災遺児・孤児に対するケア

関係機関と連携し、対象園児・児童・生徒の成長を継続的に見守る。

2 学力向上事業

(1) 被災した子どもたちの学力向上をサポートするため、相馬市教育委員会並びに東京大学と連携をしてボランティアの学生に協力をいただき、生涯学習会館とLVMH子どもアート・メゾンを会場にして「学習会」を開催する。

(2) 実施予定回数は13回とする。

3 交流事業

(1) 相馬フォロアーチームの支援団体であるプール学院との交流を図る。

- ・ 大阪での交流（令和元年8月中旬の予定）
- ・ 相馬での交流（令和2年3月上旬の予定）

(2) 東京大学キャンパス見学会を実施する。（8月6日（火）の予定）

平成31年度活動予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取寄付金		
受取寄付金		0
2 受取助成金等		
受取補助金		0
3 事業収益		
市委託料収入		22,016,910
相馬看護学校委託料収入		200,000
4 その他収益		
受取利息		100
経常収益合計		22,217,010
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	8,140,000	
法定福利費	1,200,000	
人件費計	9,340,000	
(2) その他経費		
旅費通信費	2,230,000	
賃借料	1,000,000	
その他事業費	970,000	
その他経費計	4,200,000	
事業費計		13,540,000
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	4,300,000	
法定福利費	690,000	
人件費計	4,990,000	
(2) その他経費		
旅費通信費	290,000	
賃借料	500,000	
減価償却費	910,000	
租税公課	900,000	
その他管理費	1,087,010	
その他経費計	3,687,010	
管理費計		8,677,010
経常費用合計		22,217,010
当期経常増加額		0
当期正味財産増加額		0
前期繰越正味財産額		6,712,020
次期繰越正味財産額		6,712,020

監査報告書

平成30年度特定非営利活動法人相馬フォロアーチームの収支決算について、令和元年6月3日に預金通帳並びに領収書など関係書類をもとに監査をいたしました。

その結果、正確かつ適正に処理されておりましたので、ここにご報告いたします。

令和元年6月12日

特定非営利活動法人

相馬フォロアーチーム

監事 反畑正博 